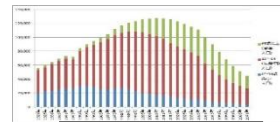


フィールド調査における名張観光の現状と課題

文責 大阪商業大学 総合経営学部 商学科3年生 浅野真澄



図① 日本の人口の推移



図② 名張市の地図

1 研究目的

近年、人口減少や少子高齢化が進む日本の中で、地域への消費の増加、関連産業の振興、新たな雇用創出による地域の活性化といった経済効果という理由から「観光」が注目されている。そこで、本研究では三重県名張市における観光の現状と課題を探ることを目的とする。名張市では、市の人口の多くを高齢者が占め、若い世代の方が減り、全体の総人口は減少している。そこで名張市は観光を中心とした地域活性化を模索しているが、観光資源の開発やPR方法等で苦慮している。そこで、名張市の事例を扱う本研究は、観光を通じた地域活性化に苦慮している地域の先進的事例となり得ると考えられる。本研究の分析方法は、「観光関連団体・企業」に対するインタビュー調査を行い、地域や企業が抱えている課題の抽出を行う。

2 研究対象（三重県名張市の概要）

日本の人口は2005年をピークに2010年を境に減少をたどっており、2015年の日本人口は約1億2,616万人である（図①参照）。2025年は3人に1人は65歳以上であると予想される。このため地域内における消費の減少及び地域経済の停滞が懸念されている。日本の訪日外国人数は2014年に1,300万人を突破し2016年5月26日、27日には主要国首脳会議の開催が三重県に決定した。その中で私たちは、三重県名張市における観光を通じた地域活性化に着目し、研究している（図②参照）。大規模人口住宅の影響で、名張市の総人口は2000年に83,291人となり、2012年では79,780人となっている。名張市は四方を山に囲まれた歴史ある町である赤目四十八滝や、名張藤堂家といった歴史にも大きな関わりがある。戦国時代には、伊賀流忍者の祖とされる百地三太夫が弟子たちとともに日々鍛錬に励み、多くの忍者を輩出している。そんな伝説の地にある「忍者の森」では、忍者修行が体験できる。青蓮寺湖観光村では7月中旬から10月末までぶどう狩り、1月から5月までいちご狩りを楽しむことが可能である。しかしながら毎日新聞に掲載されていた日本創成会議・人口減少問題検討分科会の推計によると名張市は、「消滅可能性都市」にあげられる。この消滅可能を食い止めないといけないのが現状と課題である。

3 研究の方法と調査実施場所

1 インタビュー調査 観光関連団体

所在地：三重県名張市赤目町長坂861番地の1 実施期間：2015年6月10日

調査依頼者：特定非営利活動法人赤目四十八滝渓谷保障会 増田成樹氏



図③ 赤目四十八滝

研究目的：赤目四十八滝の概要や近年の状況、課題を明確にすること。

具体的には「PR方法」「交通機関の不便さ」「観光客の推移」に関して調査を行う（図③参照）。

調査結果

PR：予算に限度があり無料媒体の掲載に力を入れる。

交通機関：バス数本でありアクセスが容易ではなく自家用車の活用が多く、公共機関の利用が少ない。

→地域の旅館と連携し旅館の無料送迎バスの提供。

観光客の世代：高齢者、団塊世代といった層が多く若年層が少なく「山ガール」といったキャッチコピーにするが減少傾向。

→SNSの活用

小括：PR方法についてはウィキペディアなどの著作権などの制限がなくすべての人が利用し、再掲載できるように

システムであるオープンデータソーシンの活用をするべきである。

3 フィールド調査 赤目四十八滝

所在地：三重県名張市赤目町長坂861番地の1 実施期間：2015年11月28日

調査依頼者：特定非営利活動法人赤目四十八滝渓谷保障会 増田成樹氏

研究目的：赤目四十八滝の概要や近年の状況、課題を明確にすること。具体的には「観光資源」に関して調査を行う。

観光内容：引率の方と共に赤目四十八滝の散策・オオサンショウウオセンターの施設見学。

小括：紅葉だけでなく春夏秋冬の季節に行ってもその時期を堪能できるいいところである。できるだけ自然が維持されていた。

なにより旅コンテスト応募にあたって、よい現地調査となった。

5 フィールド調査 名張市

実施期間：2015年10月24日

図⑤ はなびし庵ふたり



図⑥ 名張藤堂家屋敷跡



研究目的：名張旅コンテスト応募 観光資源を肌で感じる。

観光内容：はなびし庵（影絵）（図⑤参照）名張藤堂家屋敷跡（図⑥参照）、宇流富志禰神社、丸福精肉店等を回った

小括：観光資源は想像よりもはるかに多く、既存の物と既存の物の組み合わせたイノベーションが必要となる。

4 考察

本研究は、三重県名張市における現状や観光を促進する上での課題について、「観光事業者」の視点から調査インタビューの結果から赤目四十八滝や忍者の森などの観光資源はあるのに知られていないという認知度の低さ、駅にポスターは貼ってあるがお客様の目についていないことからPR力が弱い、団塊の世代や家族連れが多いことから若年層が少ない、バスの本数が少ないことから交通が不便であることが明らかになった。

本研究は、前述したとおり、「観光事業者」の視点から行ったが、観光現象を考察する上で、「観光客」の視点が不可欠である。ただし、本研究では観光客がどの程度、名張について認知しているかを確かめるために、今年度中に大阪で名張市についての認知度のアンケート調査を行う。

また、来年度は著作権などの制限がなくすべての人が利用し、再掲載できるようにシステムであるオープンデータソーシンの活用を行う予定である。

2 インタビュー調査 宿泊業

① 山水園 調査依頼者：代表取締役 小川貴司氏

所在地：三重県名張市赤目町柏原1203 実施期間：2015年9月1日

研究目的：名張市赤目にある宿泊業の課題を明確にすること。

具体的には「交通機関の不便さ」「PR方法」「顧客の推移」に関して調査を行う。

PR：HP・楽天・じゃらん・ロコミ 交通機関：七割車・お酒飲む方は電車

顧客の推移：定年退職されている方・家族・職場のOB・同窓会 課題：PR方法・バリアフリー化

② 対泉閣 調査依頼者：代表取締役 玉置治郎氏

所在地：三重県名張市赤目町長坂682番地 実施期間：2015年9月1日

調査目的：名張市赤目にある宿泊業の課題を明確にすること。

具体的には「PR方法」「顧客の推移」に関して調査を行う。

PR：HP・楽天・じゃらん・ロコミ 課題：PR方法

顧客の推移：宿泊が7割・60代、20代が多い・家族連れの増加

小括：PR方法についてはウィキペディアなどの著作権などの制限がなくすべての人が利用し、

再掲載できるようにシステムであるオープンデータソーシンの活用をするべきである。

4 忍者修行体験のインターンシップ 忍者の森

実施期間：2015年12月19日

研究目的：忍者の森の概要や近年の状況、課題を明確にすること。

具体的には「顧客推移」に関して調査を行う。

実施内容：自分たちも忍者になってきていただいたお客様と一緒に忍者修行体験を行う。

館内の清掃、巻物制作（図④参照）。

顧客：アルバイトにてマニュアルを暗記するだけなので、

お客様の質問に答えることができるかどうかである。

小括：インターンシップを行って、実際に仕事の裏側を知ることができ、

これからの活動につながるような良い経験となった。



図④ 忍者修行体験の様子



図⑦ 学生活動成果発表会 表彰状



図⑧ 学生活動成果発表会の様子

5 研究成果

日時 2015年 9月14日

会場 阪南大学 あべのはるかすキャンパス

関西教育コンソーシアム主催の「学生活動成

果発表会」にてPDCAサイクルができている

と高評価をいただき「特別賞」を受賞した

（図⑦・⑧参照）。